

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論) (生命理工学先端研究特論)
(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

- 1 . 講 師 奥州市国保衣川歯科診療所 所長 佐々木 勝忠
- 2 . 演 題 口腔機能障害が高齢者の栄養状態に及ぼす影響
- 3 . 日 時 平成24年6月1日(金)
16時30分 ~ 18時30分
- 4 . 場 所 第1ゼミナール室 (1号館東7階)
- 5 . 内 容

動物にとって、歯の喪失は栄養摂取が不可能になることを意味し、死に直結する。一方、人間の場合は、歯を喪失してもやわらかく加工した食品を摂取することができ、また、補綴処置を受けることで食形態を変えずに栄養の確保が可能となる。

高齢者にとって食形態の変化は低栄養を導きやすく、特に嚥下障害のある者では重篤な低栄養状態となって肺炎や褥瘡などの症状を引き起こす。適切な歯科治療を行って食形態の低下を食い止め、栄養状態を改善することはADL・QOLの向上へとつながる。歯科治療後の経過を栄養の観点から観察することは重要である。

特別講義では、症例をもとに栄養障害と口腔機能障害との関連、対策について紹介する。

連絡先 健康推進歯学分野 川口 陽子 (内線 5475)